

P-3 Damage Control Surgeryの補助療法としての高気圧酸素治療

吉村有矢 今 明秀 吉岡勇気

八戸市立市民病院救命救急センター

当院では熱傷や外傷症例に対して積極的に高気圧酸素治療(HBO)を行っている。重症外傷症例に対するDamage Control Surgery(DCS)の補助療法としてHBOを用いて良好な結果を得た3例を経験したので報告する。

症例1:71才女性。歩行者対大型トラックの交通外傷。不安定型開放骨盤骨折,直腸損傷,会陰損傷,陰損傷,左大腿部degloving損傷,出血性ショック。外傷重症度スコア(Injury severity score;ISS):50,予測救命率(Probability of survival;PS):0.49。degloving損傷および骨盤開放創の治癒促進を目的に,第11病日より週5日1時間2絶対気圧(ATA)のHBO開始し,第21病日にICU退室。計20回のHBOを施行した。症例2:70才男性。狭圧外傷。多発肋骨骨折,骨盤骨折,右腎損傷,出血性ショック。ISS:29,PS:0.63。DCS後のAbdominal Compartment Syndrome(ACS)の合併に対し,腸管浮腫の軽減と腹壁創の肉芽促進を目的に第25病日からHBO開始し,第30病日にICU退室。計21回のHBOを施行した。症例3:40才男性。車対車の交通外傷。多発肋骨骨折,腰椎横突起骨折,S状結腸破裂,腹膜炎による敗血症性ショック。Open Abdominal Managementを行い,症例2と同様の目的に加えて細菌感染予防を狙って第28病日よりHBOを開始した。第32病日にICU退室。

当院の高気圧酸素治療装置は一人用の第1種治療装置であるため,集中治療時期のHBOの導入は不可能であるが,早期に気管切開することで自発呼吸下のHBOが可能となる。重症外傷に対するDCSの補助療法としてHBOを応用することは,合併症の軽減に有効かと思われた。